

平成28年度学校評価についての学校独自の分析について

滋賀県立彦根翔陽高等学校

「重点評価項目」について

○生徒の評価が高かった項目

1. 生徒が個性、適性に合った進路を主体的に考えられるよう進路指導を進めている。
2. 朝の登校指導など、生徒の基本的な生活習慣の確立を図る指導を行っている。

○生徒の評価が低かった項目

1. 保護者や地域に積極的に本校教育を説明し、信頼される学校経営に努めている。
2. 学校周辺や地域の清掃活動をとおして、環境保全ボランティア活動への参加に努めている。

○保護者の評価が高かった項目

1. 生徒が個性、適性に合った進路を主体的に考えられるよう進路指導を進めている。
2. 生徒の健康管理と病気の予防に努め、健康意識を高める指導を行っている。

○保護者の評価が低かった項目

1. 読書や本についての広報活動を積極的に行い、読書活動を推進している。
2. 保護者や地域に積極的に本校教育を説明し、信頼される学校経営に努めている。

生徒による「授業についての評価」

○家庭での予習・復習について

全体の60%が復習や予習を行っている。しかし、残りの40%が「全くしていない」と回答しており、予習・復習の方法について、教科担当者よりていねいに伝える必要があると考える。

○授業についての満足度について

全体の69%が「満足」、「まあまあ満足」と回答。しかし、残りの31%が「あまり満足していない」、「満足していない」と回答しており、一層の授業改善の検討が必要である。

○授業に対する集中度合いについて

全体の74%が肯定的な回答。一方で残りの26%が授業に集中できていないと回答しており、各教科担当者が魅力ある授業展開を進める必要がある。

○わかりやすく丁寧な授業が多いかについて

全体の67%がわかりやすく丁寧であると感じている。一方で残りの33%はわかりにくく、丁寧でないと感じている。各教科担当者が授業展開について今一度見つめ直し、わかりやすい丁寧な授業に心がける必要がある。

○最も得意な教科・科目について

総合学科における各系列の特色ある科目を中心に得意と感じている生徒が多かった。全体的として、理系科目を得意と感じている生徒は少なかった。

○どんな学習の力を伸ばしたいかについて

観察力や認識力・読解力・創造力・思考力・言語力をつけたい生徒が多かった。

平成28年度学校評価についての改善点

滋賀県立彦根翔陽高等学校

- 学校経営について
保護者説明会・オープンスクール・学校説明会等で本校の教育活動についてPRする。
- 学習指導
生徒の学習指導の向上を図るため、基礎学力育成の取り組みを実践したり、放課後等の学力補充を実施する。
- 生徒指導
担任による生徒全員の個別面談週間を実施し、生徒の把握に努める。また、PTAとの連携による朝登校指導に努める。
- 進路指導
キャリア教育の推進、保護者懇談会の充実、進路ガイダンスの充実を図る。
- 特別活動等
生徒会活動および部活動の活性化推進を図る。
- 学校図書館
教科指導における図書館の利用推進、図書委員会活動の充実を図る。
- 人権教育
共感的理解・実践的態度育成にかかる取り組みと指導の充実を図る。
- 環境教育
環境教育の実践推進を図る。
- その他
ホームページの内容の充実を図る。また、PTAとの連携事業の取り組みの推進を図る。